

「おおらかに育てて」

子どもたちが 有機農業体験

子どもが農作物の栽培や収穫を体験する
と、普段食べているものに興味を持つようにな
る。それが有機農業の場合、安全な農作物
に関する知識を得られるばかりか、虫や有機
肥料に触れることで、おおらかに育てると期待
する声もある。

快晴の土曜日、千葉 営。
県木更津市の「農業公 経営者の三上徳康と
園ぼんぼ村」に親子 んが、市の子とも会に
連れが集まった。有機 関わるうちに食物アレ
肥料を配合し農業を使 ルギーを持つ子に出会
われない農業を体験でき い「本物を食べさせて
る施設で、旅行会社「ア あげたい」と考えたの
ドサン」(同市)の直 が取り組みのきっかけ



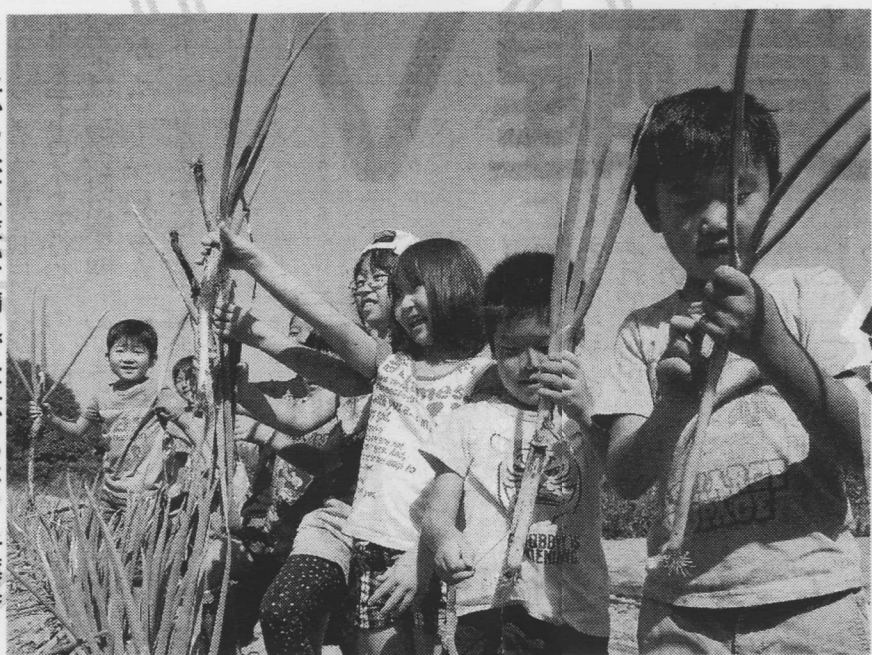
真剣な表情でハクサイの苗に土をかける親子
「東京都港区の「子育てひろば」あい・ぼー
と」

虫も泥も

気にしなさい

「小ぎんでもかぐら
んでいたら甘いよ」と
三上さんの一声でサツ
マイモ掘りが始まっ
た。土からは虫やカエ
ルも出てきて、緊張で
黙っていた子も「おっ
だ」と。
「あい・ぼー」では、
有機野菜の植え付けか
ら収穫までを体験でき
る。社会園芸学科のあ
る東京女子園芸大学と
もに企画した講座だ。
この日は、以前まい
たハクサイとダイコン
の種の様子を確認。同
大教授の沢登早苗さん
は子どもたちに「前回
(肥料として)牛のウ
ンチやおしっこを入れ
たね」と優しく話しか
ける。決して添加物を
否定するわけではな
く、沢登さんは「それ
がどういふものか、子
どもたちがわかってい
ることが大事です」と
力を込める。

有機農業の体験で得
られるのは何だろう
か。「農業で子どもの
心を耕す」(子どもの
未来社)の著者でフリ
ライターの蜂須賀裕
子さんによると、子ど
もたちは野菜に多少の
虫や泥が付いていた
り、色や形がバラバラ
だったりしても気にし
ななるといふ。「一人
間だっている人々が
いると考えると、おお
らかに育てるのでは」と
指摘している。



土からネギを抜いて満足げな子どもたち「千葉県
木更津市の「農業公園ぼんぼ村」

くらし 家庭

歳々元氣 加賀野有理

洗濯したのに衣服に
嫌なおいが残ってい
るといふ経験がある人
は多いだろう。
それは洗濯しても除
去できなかった雑菌が
繁殖しているからだ。

秋とはいえ汗ばむ日が
多い。衣服が汗で濡り、
洗濯後にわずかでも雑
菌が残ると繁殖してし
まうのだ。



洗濯と雑菌

イラスト・山本祐司

特に風呂上がり体に
を拭いて湿気を含んだ
バスタオルは要注意。
何日もそのまま放置し
たり使い回し続けたり

すれば、雑菌に住み家
を提供してしまう。こ
うした雑菌だらけのも
のを、他の衣類と共に
洗濯機で洗えば、雑菌
は衣服に付着してしま
う危険がある。
対策は、洗濯する前
に洗剤に1時間ほどつ
け置きすることだ。私
は、タオル類を薄めの
ブリーチにつけ置きし
てから洗濯するが、こ
の方法もおおに消しに
は有効である。また、
靴下やストッキングな

ど雑菌が繁殖しやすい
ものは、手洗するよ
うにしている。ストッ
キングは手洗するこ
とで長持ちするので、
経済面と合わせて一石
二鳥だ。
台所の布巾は雑菌の
温床だが、こちらは定
期的にブリーチで殺菌
し、使ったらすぐに中
性洗剤で洗って乾かす
ようにしている。
(サイエンライター)

きょうの運勢

藤宮観月

- 旧9月17日。先勝。
- 【1月】金運はしだいに上向く。古い焦げつきや損取り戻せるうれしい日。
- 【2月】ネバリと執念深さが問題解決のカギ。柔らかな気長に取り組むこと。
- 【3月】無責任な中傷やウワサなどは問題外だ。マイペースを固守すれば吉。
- 【4月】ガムシヤラにわが道を行け。諦めたらずこでおしまいだ。自信持て。
- 【5月】新しいプランは手直しが必要。思わぬ落とし穴がある。よく検討を。

- 【6月】問題解決に小細工は禁物。正攻法で堂々と取り組むこと。前向きに。
- 【7月】大きな買い物は急がぬこと。近いうちに掘り出し物がある。緑は吉。
- 【8月】あいまいさが誤解を招く。意思表示は明確にすること。風邪に注意。
- 【9月】悪戦苦闘が続くが、結果は好成績。CやYは心強い協力者。大切に。
- 【10月】何よりも話し合いが大切。意思疎通を欠いてミスを犯すこと。
- 【11月】気力がとみに充実している。サイドワークで稼ぐにはもってこいだ。
- 【12月】運氣上昇中。大きな仕事やむずかしい交渉ことは午後から処理せよ。

不器用だけどリアル



目が合って照れる私は顔りんぼ
私の気持ち気づかないで！(中3・女子)
〈返歌〉その気持ちホントにホントに閉
返顔を上げてさますはそっから(中

……中学生の相聞歌……

作者の
大好きな
だけで言
うのでキ

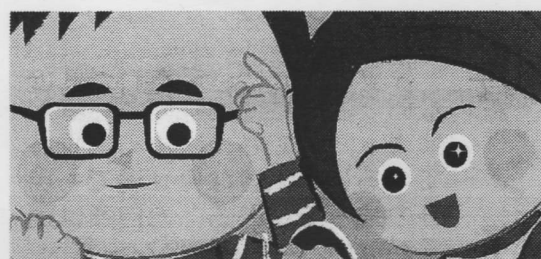
めざせ 理系男子

安達 誠

理科や算数に苦手意識
を持つ子どもが増えて
いる一方で、着実に理数の
力を伸ばしていく子もい
ます。では、彼らが育つ
環境には、どのような違
いがあるのでしょうか。
小学校で教えている私
が経験的に分かるのは、
家庭の中に身近に「理科」
がある子は伸びるとい
うことです。実験や観察は、
家庭生活といろいろなと
ころで結びついているの
です。
週末にミニ実験をして
みてはどうでしょうか。

家庭でも実験はできる

親は素直に驚こう



この際、親が一方的に教
えるのではなく、子ども
に先生役をしてみよう。学
校で教わったことを確
認しましょう。「お父
さん、どうして何が必要で
しょう」「どうなると思
う？」など問い掛けよう。母
親の側も実験結果に素直
に驚いてみれば、子